

# 市民の批判うけ長崎市の新庁舎 議会フロア「喫煙室設置せず」

国内



NBC 長崎放送

2022年7月25日(月) 16:13

建設中の長崎市役所の新庁舎について、市議会各会派で作る検討会は当初、喫煙所を設置する方向で計画をすすめていました。

しかし、この件について市民からの批判の声が上がったことを受け、検討会では25日、改めて会を開き、一転して“設置しないこと”を決めました。

ことし11月に完成予定の長崎市役所の新庁舎。

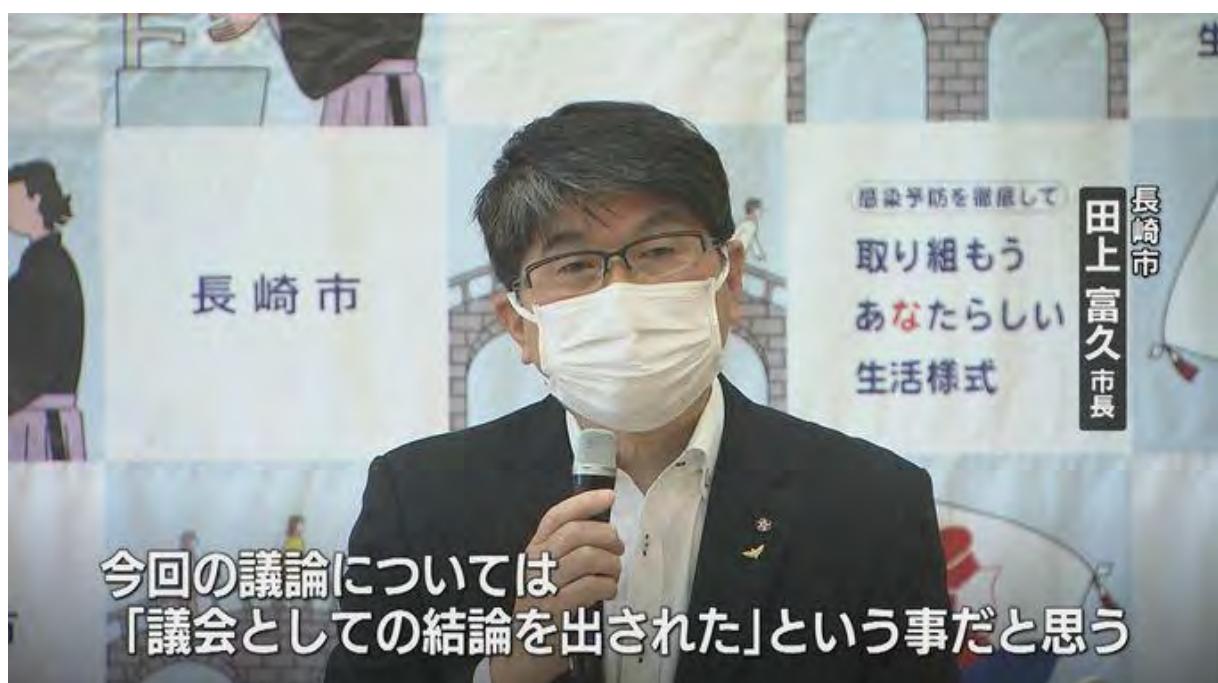
議会事務局などによりますと、市議会の6会派の代表らで構成される検討会が、先月非公開で開かれ、市議会議員に喫煙者が一定数いる現状と、受動喫煙防止の観点から5階の市議会フロアに『喫煙室を設けること』が決まっていました。

しかし、これについて市民から批判の声があがったほか、日本禁煙学会や市医師会が設置撤回の要望書を提出。

25日、改めて開かれた検討会で毎熊座長は、設置の見直しを提案、全会一致で『設置しないこと』を決めました。



検討会の後、新市庁舎建設に係る議会機能整備 検討会の座長 每熊政直市議は「議会フロアだけに喫煙室を設けるということは議員特権であるということで、市民の皆さんから理解を得られないということを改めて確認したもんですから、見直し案を皆さんに提案して、改めてご決定いただいた」と話しました。



この件について田上富久 長崎市長は定例会見の中で「議会内の在り方については、議会での議論を経て決定すること。今回の議論については議会としての結論を出されたという事だと思う。

一方で市民の皆さんで、喫煙される方は一定おられますので、分煙体制をしっかりとした中で場所の必要性についても協議していく必要はあるとは思っている」と述べました。

# 新庁舎の議会喫煙室設置撤回 長崎市議会 提案座長が一転

政治 | 速報 | 長崎

毎日新聞 | 2022/7/25 16:30 (最終更新 7/25 16:30) 658文字



長崎市新庁舎の議会フロアへの喫煙室設置の撤回を提案する毎熊政直市議（左）ら＝同市で2022年7月25日午前10時58分、樋口岳大撮影

建設中の長崎市新庁舎5階の議会フロアへの喫煙室設置を市議会が非公開の検討会会合で決めた問題で、市議会は25日、検討会を開き設置撤回を決めた。前回6月17日の非公開会合で設置を提案した座長の毎熊政直市議が一転して「市民から多くの批判をいただき、理解が得られていない」として設置の見送りを提案し、出席した6会派の市議がいずれも賛成した。

議長の諮問機関で市議による「新市庁舎建設に係る議会機能整備検討会」がこの日、報道機関に公開して会合を開いた。設置決定以降、議会事務局に約40件、市大型事業推進室に約50件の意見が電話や電子メールなどで寄せられ、ほとんどが設置に批判的な内容だったという。日本禁煙学会、市医師会、県保険医協会も相次いで撤回を要望していた。

毎熊市議は「議会に来られている市民にも喫煙者が一定数いる現状を鑑み、設置した方が喫煙者、非喫煙者の双方にメリットがあるのでないかと考えた」と前回の提案理由を説明。そのうえで「法的に設置が可能としても、同一の建物内にあることを考えると市庁舎と市議会を訪れる市民を区別できない」などと語り、見送りを提案した。

出席した市議からは「元々反対の意思を示していた」（令和長崎）、「慎重に議論を尽くす必要があった。（前回）その場で方向性を定めたやり方に率直な反省が必要だ」（共産党）などの意見が出た。



記者会見で市議会の喫煙室設置撤回などについて語る田上富久市長  
＝長崎市消防局で2022年7月25日午後1時1分、中山敦貴撮影

市議会の撤回を受け、田上富久市長は記者会見で「議会の考え方を尊重したい。改めて受動喫煙に対するさまざまな市民の考えが示される機会になった」と語った。



キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

個人

オリジナル

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

## 【長崎】長崎市議会 議会フロアの喫煙室“撤回”を決定

7/25(月) 19:33 配信 9

NIB長崎国際テレビ



NIB長崎国際テレビ

長崎市が建設を進める新しい庁舎の市議会フロアへの喫煙室設置について、市議会は検討会を開き設置しないことを決めた。「市民からの理解を得られない」として設置する方針を一転、全会一致で撤回した。

25日午前、長崎市議会で開かれた検討会。議題となったのは「喫煙室」の設置見直しについて。今年11月の完成を目指し建設が進められている長崎市の新しい庁舎。議会フロアとなる5階への喫煙室設置については議長の諮問機関である検討会で6月に協議され、一部から反対意見が出たものの工期が迫っていることなどを理由に設置する方針を決めていた。受動喫煙防止を目的にした「健康増進法」に基づいて、市は行政フロアを禁煙しているが、議会フロアについては「利用する人が限られる」などの理由から、喫煙専用室を設置できるとしていた。ところが、この決定に対して市医師会や日本禁煙学会が禁煙化を求める要望書を提出し、撤回を求めた。これらを受け、25日の検討会では座長の毎熊政直議員が設置の“撤回”を提案。出席した議員からもこの提案に賛同する声が相次いだ。参加したすべての会派が見直しに賛成し、これまでの決定から一転、喫煙室は「設置しない」ことで決定した。田上長崎市長は「議会の考えを尊重したい」と話した。

## 長崎 NEWS WEB

# 長崎市役所新庁舎 議会フロアの喫煙室 要望を撤回

07月25日 14時38分



NHK  
長崎市役所新庁舎  
喫煙室の設置 一軒方針撤回

ことし11月に完成予定の長崎市役所新庁舎について議論する市議会の検討会は、先月、議会フロアに喫煙室の設置を要望する方針を決めましたが、25日、「市民の理解が得られない」として、一軒、方針を撤回しました。

長崎市役所新庁舎の建設について議論する市議会の検討会は先月、非公開の会合で議会フロアに喫煙室の設置を要望する方針を決めました。

「望まない受動喫煙」をなくすことなどを目的に、2018年に成立した改正健康増進法では、行政機関の庁舎内での喫煙は禁止されていますが、検討会は、「議会フロアは機能が限定され、完全な分煙が可能」だとしていました。

しかし、この方針が明らかになると日本禁煙学会や長崎市医師会などが喫煙室設置の撤回を求める要望書を相次いで提出していました。

これを受けて、25日再び検討会が開かれ、「市民の理解が得られないならば設置は不可能だ」などとして、全会一致で方針の撤回を決めました。

検討会の座長、毎熊政直市議は、「『議員特権だ』という市民の声を改めて確認したので、見直すことを提案し、決定した」と話しました。

長崎市の新庁舎の議会フロアに喫煙室の設置を要望する方針が撤回されたことについて、長崎市の田上市長は25日開かれた記者会見の中で「議会の考えを尊重したい」としたうえで、「改めて喫煙に対する、あるいは受動喫煙に対する市民の考えが示された。市の庁舎や敷地内は喫煙ルームは設けないことにしているが、一方で、市民に喫煙者はいるので、他都市でも行われているような市内の様々な場所に喫煙所を置くようにしたい。そういう場所の必要性についても協議していく必要がある」と述べました。

シェアする

